

地域調査法 III

2 units (selection) 2nd-year(2nd semester)

Shuji Kitamura · PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES, Makoto Nakajima · PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target) 地域の活性化においては、地域調査による分析、特に地域および地域政策に関する統計資料・資料分析とフィールドワークに基づく実証的な分析が欠かせない。このためこの授業では、統計分析や地域調査を行うための方法、また調査結果を分析する方法を実践的に修得することを目的としている。このように地域の活性化に欠かせない地域調査に関する研究手法や分析方法を実践的な形で学ぶ。地域調査の実践により地域調査の重要性とその意味を理解するとともに、調査結果については、報告書等にまとめるよう努める。

Outline) 地域調査と統計資料を用いた地域分析方法の実践的な習得

Keyword) 地域調査 地域情報 情報・統計分析

Notice) 地域調査演習 H では地域調査の理論と技法を、地域調査法 IH・III では地域調査の実践と応用を学ぶので、両者を併せて前後期とも受講すること。ただし、本授業は実習という性格のため、受講者数を制限する場合がある。また、現地調査等については定められた授業時間外に、宿泊または日帰りで行う場合がある。

Goal) 具体的な調査事例を通じた、地域調査の方法の習得が目標

Schedule)

1. 現地調査の企画
2. 現地調査に必要な地域情報データ等の収集
3. 地域データの整理・分析
4. 現地調査 (1)
5. 現地調査 (2)
6. 現地調査 (3)
7. 現地調査 (4)
8. 調査結果の分析 (1)
9. 調査結果の分析 (2)
10. 補足調査と補足資料収集 (1)
11. 補足調査と補足資料の収集 (2)
12. 調査結果のまとめ (1)
13. 調査結果のまとめ (2)
14. 調査結果の発表
15. 報告書の作成 (1)
16. 報告書の作成 (2)

Evaluation Criteria) レポートや報告内容、調査時における参加姿勢、発表内容

等により評価する。

Re-evaluation) 無

Textbook) 本授業では教科書を定めず授業を行う。必要な資料については適時紹介する。

Reference) 必要な参考資料については適時紹介する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218847>

Contact)

⇒ Kitamura .

⇒ Nakajima (2218, +81-88-656-7181, makoto@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

Note) 平成 24 年度開講